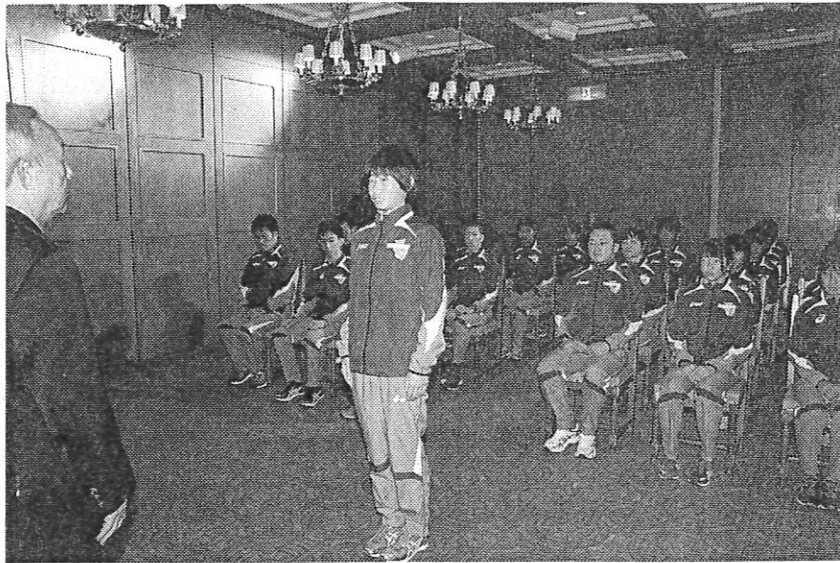


男女とも健闘誓う

都道府県 対抗駅伝 上富田で壮行会

和歌山陸上競技協会は4日、全国都道府県対抗女子駅伝(11日、京都市)と同男子駅伝(18日、広島市)に出場する選手の結団壮行会を上富田町岩崎の朝日リゾートホテル白浜で開き、選手団を激励した。



壮行会で決意を述べる女子選手代表の山本明日香さん
(4日、上富田町岩崎で)

選手紹介に続き、南正晃協会副会長が「県民は皆さんに非常に期待している。昨年以上の成績を挙げてほしい。あと9カ月で紀の国わかやま国体がある。京都と広島で頑張ってくれることを期待している」と話した。

男女とも選手代表が決意を表明。女子は山本明日香さん(神島高校2年)が「一人一人悔いが残らないよう県代表として責任を持って走りたい。紀の国わかやま国体に向けていいスタートが切れるような走りをしたい」と誓った。両駅伝とも中学生、高校生、大学生・社会人でチームを編成。女子は9区間42・195キロで競う。和歌山県は昨年46位だった。男子は7区間48キロのコースで、和歌山県は昨年

30位だった。

紀南関係の選手は次の皆さん。

【女子】野村蒼(上秋津中学校3年)、清水梨穂(上南都中学校2年)、那須千晴(神島高校3年)、中松利恵(同)、山本明日香、橋本奈津(神島高校2年)、古久保亜衣(京都産業大学4年)

【男子】阪口俊平(田辺工業高校2年)、中村悠二(愛知製鋼)